

平成 23 年度

人にやさしい温かい街づくり

市政方針と予算



予算総額 853 億 9,300 万円

一般会計 459 億円
特別会計 202 億 3,000 万円
企業会計 192 億 6,300 万円

市政方針

現在、我が国は、景気の低迷や厳しい雇用情勢が続く中、本格的な少子高齢・人口減少時代の到来や持続可能な社会保障制度の再構築、環太平洋パートナーシップ協定、いわゆる TPP への交渉参加の議論など経済のグローバル化、地球規模の環境問題への対応など、国の根幹に関わる課題に直面しています。

また、地域主権改革の推進など国と地方の関係にも大きな変化が生じているなど、政治・経済、社会生

活等の様々な分野における改革が進められており、地域の経済社会や市民生活に及ぼす影響は、さらに大きくなる懸念があります。

当市においても、長期化する地域経済の低迷に加え、少子高齢社会への対応、循環型社会の構築や高度情報化の進展など、社会構造の変化に伴う多くの課題に直面しています。

新年度は、こうした厳しい現状を踏まえ、引き続き、市民生活の安心を支える市政の確な対応に努めながら、私たちのまち岩沢の将来をしっかりと見据え、着実にまちづくりを前進させていきたいと考えています。

また、引き続き、地方分権時代にふさわしい行財政基盤の確立に向けて、適切な対応を進めながら、市政情報を広く市民に提供し、地域産業・経済の活性化や市民生活の安全・安心の確保、少子高齢社会における

健康・福祉施策の展開や教育・文化の振興に取り組みます。

市は、一貫して、住民自治の基本となる、市民が主役の行政の実現を目指してきました。

今後この姿勢を堅持し、市民の皆さまの声を市政に反映すべく、全力で取り組むとともに、市民の立場に立ち、市民の目線からの行政を進めます。

また、市民が誇りと愛着の持てるまちを自らの手で築く、市民本位のまちづくりと、自らの責任と判断で決定し実行できる、自主自立のまちづくりを市政執行に当たっての基本姿勢とし、市民が主役の開かれた市政の実現と市民と行政が連携・協力する協働のまちづくりを大きく展開します。

さらに、新岩見沢市総合計画のもと、都市像の「人・地域が輝く緑と活力に満ちた文化都市」を目指し、市民生活の質的向上と地域振興を図るための施策を着実に実施し、将来を見据えた、人にやさしい温かい街づくりの更なるステップアップを図ります。

新年度における市政執行に当たり、市は、次の課題を緊急かつ重要な優先課題として位置付け、重点的に取り組みを進めます。

地域経済の活性化と雇用の安定・確保

最初に、当面する緊急かつ重要な政策課題として、地域産業・経済の活性化を図る取り組みであります。

長期化する景気の低迷や雇用情勢など、依然として厳しい経済情勢が続いていることから、地域経済の活性化と雇用の安定・確保に向けて、的確な経済対策を講じる必要があります。

このため、地元中小企業の事業資金の円滑化や新たな企業活動への支援、先端産業などの立地や雇用・就業機会の創出を進めるとともに、地域農業を支える担い手の育成・確保、農業経営の安定対策や農業所得の向上対策に取り組むなど、地域産業の振興を図ります。

また、中心市街地活性化基本計画に盛り込んだ各種事業を推進するとともに、ポルタビルの再生や駅前通整備事業の促進を図るなど、中心市街地の再生やにぎわい創出を目指します。

健康で生きがいを持ち安心して暮らせるまち

次に、「人にやさしい温かい街づくり」の重点分野である福祉・医療・

教育の充実を図る取り組みであります。

少子高齢社会の進展等を見据え、すべての人が支え助け合い、健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、福祉・医療・教育分野における施策を充実していく必要があります。

このため、新年度においては、子育て支援の充実や疾病予防の推進、障がい者施策の展開、高齢者の健康と生きがいを高める施策などを推進するとともに、市立総合病院を核として、地域医療の維持確保や診療連携の強化を図るほか、学校教育施設等の計画的な整備や子どもの健全育成を図るための教育環境の充実に取り組みます。

地域自らが創意工夫し自らのまちを築く

次に、住民自治の推進と協働のまちづくりを目指す取り組みであります。

国・地方を通じた厳しい財政環境

や地域主権改革の動向に適切に対応しながら、市民生活の質的向上を図り、安全で安心できる地域社会を築いていくためには、地域自らが創意工夫し、針路を定め自らのまちを築いていく必要があります。

このため、市民の皆さまも責任と自覚を持ってまちづくりを進める市民参画型の市政運営を基本として、住民自治の基本理念や基本原則などを明確にする（仮称「住民自治条例」の制定に取り組みとともに、市政全般にわたり市民と行政が協働する取り組みを促進するなど、岩見沢市にふさわしい参画と協働のまちづくりを推進します。

また、市民の皆さまと行政情報を共有しつつ、将来にわたって持続可能な自立した行政基盤の確立に取り組みます。

新年度の主要施策は、「新岩見沢市総合計画」の実現を目指し、基本構想に掲げる、まちづくりの基本方向に沿って、次の4つの柱により推進します。

- 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり
- 人にやさしい健康・福祉のまちづくり
- 豊かな心を育む教育・文化のまちづくり
- 活力ある産業・経済のまちづくり

安全・安心で

快適に暮らせるまちづくり

- 参画と協働のまちづくり
- 環境の保全と衛生対策
- 安全・安心で快適な市民生活の基盤整備

印は
新規・拡充事業

ごみの減量や再資源化の推進、ごみ処理施設の適正な維持管理や新たな処理施設の整備に取り組むなど、環境への負荷の少ない循環型社会の形成を目指します。

防災対策は、災害時における避難支援体制等の整備、消防力の強化を図るなど、災害に強いまちづくりを推進します。

冬期間の安全で安心な市民生活の確保を目指し、迅速かつ機動的な除排雪の徹底に努めます。

道路や側溝、上下水道施設などの計画的な整備と維持管理を行うほか、「あんしん住まいづくり助成事業」の創設、新たな霊園の造成に向けて基本計画の策定を進めます。

児童見守りや高齢者サポートなど「コミュニティサービ」スの事業化に向けた取り組みを進めます。

ごみ処理対策事業

【6億7千886万円】

一般廃棄物の適切な収集運搬と処理を行い、じん芥処理センターの適正な維持管理に努める。また、新たなごみ処理方法を決定し、次期ごみ処理施設の建設を進めるための用地確保と測量調査、基本計画の策定などを行う。

ごみ減量化推進事業

【2億6千244万円】

ごみの発生抑制、再使用、再利用の促進に向け、井戸端会議の開催や市民会議と連携した啓発を推進するとともに、容器包装プラスチック中間処理設備の整備を実施する。

市民参画・協働のまちづくり推進事業 【2千558万円】

住民自らが地域のまちづくりを

進める体制を構築するための活動を支援し、地域における住民自治の進展に努めるとともに、まちづくりへの市民の参画を促すための条例策定に向けた取り組みを実施する。

墓地霊園管理造成事業

【6千370万円】

墓地霊園の適正な管理運営に努めるとともに、新霊園の基本計画の策定などを行う。

防災対策事業

【1千845万円】

「自助・共助・公助」を基本とし、災害から市民の生命・財産を守るため、地域住民の参加による防災訓練の実施、自主防災組織の育成支援や組織強化のほか、出前講座等を通じての啓蒙・啓発活動や防災意識の高揚を図り、災害に強いまちづくりを推進する。

除排雪事業

【8億984万円】

市民の安全と安心を高めるため、冬期間のきめ細かな除排雪を行う。

災害心急対策事業

【1億円】

豪雪をはじめ、各災害時に迅速な応急対策を図る。

消防車両整備事業

【6千200万円】

安全な市民生活を確保するため、計画的に消防車両を更新する。

道路新設改良事業

【21億7千300万円】

道路、橋りょう等の整備を行う。

公園造成事業

【2億4千700万円】

公園、緑地を計画的に整備するとともに、既設公園のバリアフリー化や、老朽化した施設の改築更新等の再整備を進める。

水道事業

【8億5千429万円】

送水管、配水管等の整備を行う。

下水道事業

【11億4千800万円】

汚水管、雨水管等の整備を行う。

あんしん住まいづくり助成事業

【1億3千540万円】

市民が住宅設備などの少額改修を行う場合でも助成対象とすることで、多くの市民の住まいの安全性を確保するとともに、市内事業者の受注機会の拡大を促進する。

地域情報化推進事業

【3千563万円】

ICT(情報通信技術)を活用し、教育・福祉・医療など幅広い分野でのさらなる利活用促進と、地域ICT環境の効率化を図るとともに、児童見守りや高齢者サポートを基軸とした「コミュニティサービ」スの具現化・事業化を促進する。

人にやさしい

健康・福祉のまちづくり

- 健康に暮らせるまちづくり
- 地域福祉の推進
- 幸せに暮らせるまちづくり

安心して質の高い医療を提供するため、市立病院の医療機器の計画的整備など、医療の質の向上を図ります。生活習慣病などの疾病予防や各種健康診査、各種ワクチン接種を実施するなど、市民の健康づくりを支援します。

安心して子どもを産み育てることができるよう、子育てサークル活動や子育て相談体制の充実・支援に努めるほか、乳幼児等の医療費助成や妊婦一般健康診査の公費助成を継続するなど、子育て世帯の負担軽減を図ります。

低所得の方を対象とした介護サービス利用料の軽減などを継続するほか、新たに脳ドック検診費用の一部助成を実施するなど、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

医療機械器具等整備事業

【2億1千809万円】

市立総合病院と市立栗沢病院に、一般撮影CRシステムほか44品目の医療機器の整備を行う。成人検診推進事業

【6千47万円】

市民の健康維持増進や疾病予防等のため、健康診査と各種がん検診を行う。また、後期高齢者医療被保険者の各種検診の負担金無料



健康まつりで、自分の身体の状態を再認識

化を引き続き実施するとともに、新たに脳ドック検診費用の一部を助成する。

疾病予防推進事業

【2億2千838万円】

疾病・感染症の発症やまん延を予防し健康な生涯を送ることができよう、各種ワクチン接種事業を推進する。

地域支援事業

【1億1千765万円】

地域包括支援センターを拠点に、市民の保健、医療、福祉の向上のため、地域における包括的、継続的な支援を行う。障害者自立推進事業

障害者自立推進事業

【1億2千380万円】

障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、相談支援体制の推進など障がいのある人の自立を促進する。

次世代育成支援事業

【2千679万円】

子どもたちが健やかに成長できる環境や安心して子育てができる環境づくりに努める。

乳幼児等医療助成事業

【1億6千98万円】

小学校6年生までの乳幼児等の医療費を助成する。

母子保健推進事業

【6千393万円】

少子化、核家族化等の進行に伴う育児不安を軽減し、母子の心身の健全な育成と、安心・安全な出産を支援するとともに、疾病の予防および早期発見に努める。

母子福祉事業

【3千425万円】

母子家庭の経済的・精神的自立のため、相談事業や母子家庭自立支援給付金事業などの支援を行う。



同世代の子どもを持つ母親が集まり、母親同士や子どもと交流する青空広場

子ども手当等給付事業

【19億8千502万円】

子どもの健やかな育成を社会全体で支援するため、中学校修了までの子どもを養育する家庭に子ども手当を支給するなど、児童福祉の増進を図る。

豊かな心を育む 教育・文化のまちづくり

- 確かな学力と豊かな人間性を育てる学校教育
- 校舎等の安全性の確保と教育環境の充実
- 生涯学習センターを中心市街地に整備

学校、家庭、地域が一体となって連携・協力し、礼節を重んじる態度や豊かな人間性を育むことのできる環境の整備に取り組みます。

学校教育施設は、計画的に改築や大規模改造、耐震改修を進め、教育環境の一層の改善を図ります。

社会教育施設は、子どもから高齢者まで幅広い世代間の交流と生涯学習の拠点施設として、「生涯学習センター」の整備を進めます。

北海道教育大学岩見沢校の持つ豊富な知識やノウハウ、人材などを活用し、芸術・スポーツ分野をはじめ、中心市街地のにぎわい創出や市民の健康づくりなど、広範な地域連携を進めるとともに、文化団体やスポーツ団体、NPO法人などと連携し、市民が芸術文化・スポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。



北海道教育大学岩見沢校の学生の演奏に耳を傾ける小学生

夢ふくらむ学びの活動支援事業

【1千150万円】

子どもたちが自ら学び考える力や、豊かな心と健やかな体を育成するため、各学校が創意工夫のもとで取り組む活動を支援する。

地域と協働する学校づくり支援事業
【300万円】

地域全体で学校を支え、子どもたちの成長を育むため、学校と家庭や地域が連携・協力を図りながら取り組む活動を支援する。

教育指導振興事業 【841万円】

新しい時代をひらく児童生徒の生きて働く学力の確実な定着と心豊かで健全な成長を促す教育指導の充実を図るとともに、地域コワーキングスペースと学校支援ボランティアにより、学校教育活動の支援を図り、保護者・地域も加わった活気あふれる教育を行い、子どもが輝く岩見沢の教育づくりを推進する。

小学校校舎等改築事業

【11億6千6万円】

校舎等の地震に対する安全性を確保するため、第一小学校校舎・屋内体育館の耐震診断調査と実施設計を行うほか、老朽化の著しい岩見沢小学校の校舎と屋内体育館、東小学校の屋内体育館の改築工事を行い、教育環境の充実を図る。

生涯学習センター整備事業

【1億3千598万円】

空知婦人会館・勤労青少年ホーム・働く婦人の家に武道場、子ども



国際ミニフェスティバルで、外国の文化にふれあう

もの実験・工作学習機能を加え、幅広い世代間交流を図る生涯学習の拠点を中心市街地活性化区域内にPFI（民間資金等活用）方式で整備する。

外国語指導助手活用事業

【4千151万円】

英語を使える児童生徒の育成を目指し、語学指導等を行う外国青年招致事業により、外国語教育と国際理解教育の充実を図るとともに、小学生英語ふれあい体験事業を実施し、英語によるコミュニケーション能力の育成などを推進する。

活力ある 産業・経済のまちづくり

- 活力と魅力ある農業・農村の実現
- 中心市街地の活性化
- 新産業の創出と雇用の確保

基幹産業の農業は、TPPの議論など、国の農業政策が大きく転換している中、本市農業の中期的な計画を策定した「岩見沢市農業振興ビジョン」に基づき、活力と魅力ある農業・農村の実現を目指します。

地元中小企業の事業資金の円滑化や人材育成を図るほか、立地環境や高度情報通信基盤をいかに、先端産業の立地や新たな産業の創出に向けた取り組みを推進します。

国の通年雇用促進支援事業などを活用し、若年層から中高年齢層まで幅広い層の雇用促進と就業機会の確保を図ります。

中心市街地の活性化は、第1・第2ポルタビルを購入し、商業業務集積地区を核として、コンパクトでにぎわいのあるまちづくりを目指します。

担い手・農業法人等育成支援事業

【5千807万円】

関係農業団体と連携して、岩見沢市新規就農サポートセンターを中心に、新規参入者・新規学卒者・Uターン者に各種研修等への支援を実施するとともに、研修生等受入宿泊施設を整備し、農業後継者対策事業の拡充を図る。

地産地消等所得向上対策事業

【922万円】

地産地消や、道内、首都圏への販路拡大・ブランド化への支援を進め、地場農産物の積極的な消費拡大を図るとともに、将来的な海外輸出に向けた調査等に取り組むなど、農家所得の向上を図る。

食料供給基盤強化特別対策事業

【2億2千155万円】

農業の生産性向上を図るため、

農業者が必要な生産基盤の整備に積極的に取り組めるよう、農家負担の軽減を図る。

中心市街地活性化対策事業

【1億1千28万円】

中心市街地の核となる商業業務集積地区の活性化を官民協働で進めるとともに、中心市街地の活性化のため、まちづくりの司令塔である中心市街地活性化協議会と連携し、中心市街地活性化基本計画に基づいた事業を推進する。

ポルタビル再生事業

【1億5千115万円】

中心市街地のにぎわいの核施設である第1・第2ポルタビルを購入し、民間の主體的な管理運営のもと、ポルタビルの再生を図る。

商工金融円滑化事業

【8億3千729万円】

まちづくり特別資金の内容を拡充するとともに、引き続き事業拡大、新分野への進出、起業化などを目的とした融資や利子補給、保証料補給を行い、中小企業の円滑な資金調達を図り、経営基盤の強化と安定化を促進する。

新産業創出促進事業

【2億909万円】

情報通信関連企業、先端技術を用いた製造業やベンチャー企業な

ど、成長性の高い企業の立地・集積を促進し、新たな産業の創出と雇用機会の拡大を図る。

雇用促進事業

【3億3千709万円】

地域における雇用対策の実施や、様々な雇用施策等の情報を提供するとともに、国の雇用交付金事業など若年層から中高年齢層まで幅広い層の雇用促進と就業機会の確保に向けた取り組みを推進する。

◇ ◇

平成23年度の予算は、引き続き事業目的別予算編成の手法により、「選択と集中」の視点に立ち、事務事業の見直しや再構築を行い、当面する課題への的確な対応に努め、市民生活の質的向上や地域振興を図る施策に重点配分を行いました。

厳しい財政環境の中、財政調整基金から2億円の繰り入れを余儀なくされましたが、80億円台の土木・建設事業に類する事業費を確保したほか、地域産業・経済の活性化や雇用確保対策、少子高齢社会を見据えた福祉、医療、教育の充実など、緊急かつ重要な課題に対応しながら、除排雪対策など地域の安全と市民生活の安心を高める施策などにも積極的に取り組みます。